

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2001-235071(P2001-235071A)

【公開日】平成13年8月31日(2001.8.31)

【出願番号】特願2000-46189(P2000-46189)

【国際特許分類】

F 16 L 11/12 (2006.01)

B 29 C 47/00 (2006.01)

B 29 L 23/00 (2006.01)

【F I】

F 16 L 11/12 K

B 29 C 47/00

B 29 L 23:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

切削機26の詳細は、図3に記載の通り、まず無垢管状体23に上下方向に切削用回転鋸刃32a・bにより切削を行い、次に左右方向に切削用回転鋸刃32c・dにより切削を行う。切削鋸刃32(32a・b・c・d)は、鋸刃駆動伝達部33(33a・b・c・d)により回転するようになっている。切削部分の巾調整が可能なよう、上下方向に切削用回転鋸刃32c・dを基準として、左右方向の切削位置調整部を持っている。上下方向の切削用回転鋸刃は本実施例では同時に切削しているが、切削深さに問題があれば、位置を変えてもよく、左右方向についても同様である。